第 8 講　【中世編】　中世ヨーロッパ世界の変容
PART4 イギリスとフランスの王朝

Chapter 1　イギリスの王朝と立憲君主政の成立

目標　マグナ＝カルタ（大憲章）の承認には，どのような意義があったのだろうか。
イングランドで議会制度が確立していったきっかけを学ぼう。

1　イギリスのノルマン朝とプランタジネット朝

1066 年　**ノルマンディー公ウィリアム**がウィリアム 1 世として即位

（[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]）して

［　　　　　　　　　　］が成立

①征服王朝だったため王権が強大

②イギリス初の検地を実施

1154 年　フランスのアンジュー伯がヘンリ 2 世として

［　　　　　　　　　　　　　　　］を開く

※イングランド王でありながら，フランスでは広大なアンジュー伯領を持つフランス王の臣下という複雑さがイギリスとフランスの対立の起源となった。

→リチャード 1 世が第 3 回十字軍（1189 年～92 年）に参加

プランタジネット朝とアンジュー伯

2　イギリスの立憲政治のはじまり

①〔　　　　　　　〕（欠地王，リチャード１世の弟）の失政

1199年～1214年　フランス国王**フィリップ２世**と戦って敗れ，フランス内の領土の大半を失う

1209年　教皇〔　　　　　　　　　　　〕とも争い，破門される

②マグナ＝カルタの承認

ジョン王は戦費による財政難から重税を課した

1215年　貴族（封建領主）が団結し，新たな課税に聖職者と貴族の会議の承認が必要とすることや，不当逮捕の禁止などを定めた〔　　　　　　　　　　〕を提出，王に認めさせる

→イギリスの**立憲政治**の基礎となる

③シモン＝ド＝モンフォールの議会

ジョン王の子**ヘンリ３世**が大憲章を無視して貴族に重税を課した

1264年～67年　〔　　　　　　　　　　　　〕を中心に貴族が反乱をおこす

1265年　聖職者・貴族に加えて，州と都市の代表者による**議会**を招集する

→イギリス議会の起源となる

④模範議会の成立

1295年　〔　　　　　　　　　〕が〔　　　　　　〕と呼ばれる**身分制議会**を招集

⑤二院制の成立

14世紀半ば　議会は聖職者・貴族による**上院**（**貴族院**）と，州と都市を代表する**下院**（**庶民院**）の二院制となり，法律の制定や新課税には庶民院の承認が必要となる

A　下院では騎士から地方地主となった**ジェントリ**（郷紳）が大きな勢力となった

B　**エドワード３世**は百年戦争継続の戦費の調達のために，議会をたびたび開催するようになり，制度も整えられていった

まとめ　国王の権限が制限され，イギリス立憲政治のはじまりとなった。
エドワード１世により模範議会が開催され，議会制度が確立していった。

Chapter 2　フランスの王朝と百年戦争

目標　フランスのカペー朝が王権を拡大していった流れを理解しよう。
百年戦争はなぜはじまったのだろうか。

1　フランスのカペー朝

初期カペー朝の王権はパリ周辺に限られ，諸侯の力が強かったが，教会との癒着や十字軍の参加にともない歴代の王が着実に権力を拡大させ，西ヨーロッパの強国となった。

①〔　　　　　　　　　　　　　　〕
　A　第３回十字軍（1189 年～92 年）に参加
　B　ジョン王と戦い，国内にあったイギリス領の大半を奪回し，王権拡大の基礎をつくった
　C　南フランスの**カタリ派**を討伐するために**アルビジョワ十字軍**を提唱

②〔　　　　　　　　〕
　A　第６・７回十字軍を主導
　B　1209 年～ 29 年のアルビジョワ十字軍を成功させ，南フランスにも王権を拡大
　C　1253 年　モンゴル帝国に修道士の**ルブルック**を派遣

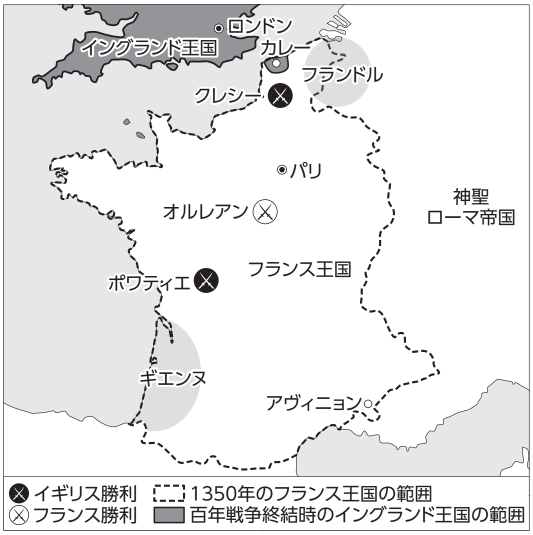
③〔　　　　　　　　　　　　　　〕
　A　1302 年　フランス初の身分制議会である**三部会**を開催，翌年に教皇**ボニファティウス８世**を捕縛した（〔　　　　　　　　　　　　〕）
　B　1309 年　教皇クレメンス５世を南フランスのアヴィニョンに強制移転させる〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を行った
　C　1312 年　**テンプル騎士団**を弾圧・解体し，財産を没収

2　ヴァロワ朝の成立と百年戦争

①ヴァロワ朝の成立
　1328 年　カペー朝が断絶
　→フィリップ６世により〔　　　　　　　　　　〕が成立

②百年戦争の原因と背景
　1339 年　イングランド王**エドワード３世**がカペー朝の**王位継承権**を主張
　→フランスへ侵攻して〔　　　　　　　　〕がはじまる

※背景には毛織物産地の**フランドル地方**の支配権争いや，ワイン産地のギエンヌ地方の領地争いがあった。



百年戦争の抗争図

③百年戦争の経過と結果

A　開戦当初はクレシーの戦い（1346年）やポワティエの戦い（1356年）に勝利したイングランドが優勢，エドワード黒太子の活躍

B　ペストの流行や両国で相次いでおこった農民反乱による社会不安で，戦争が長期化

C　一時フランスが盛り返すも15世紀になると内部分裂などで再度劣勢に
→神の啓示を信じる農民の娘〔　　　　　　　　　　　〕の指揮によって包囲された**オルレアン**を解放

D　フランスで〔　　　　　　　　　　〕が戴冠して正式に王位に就く
→反攻に転じて**カレー**を除く全領土を確保して戦争終結

④百年戦争の影響

A　イングランド・フランスとも諸侯と貴族の封建領主が没落し，王権が強化

B　フランスでは，シャルル７世のもとで官僚制と常備軍が整備されて中央集権が進展

C　イングランドでは1455年，王位継承権を巡って**ランカスター家**と**ヨーク家**が争う
〔　　　　　　　　〕が勃発
1485年，ランカスター派のヘンリが**ヘンリ７世**として即位
→〔　　　　　　　　　　〕を開き，王権に反抗する貴族を裁くための**星室庁裁判所**を設置するなど，さらに王権を強化

ジャンヌ＝ダルク

まとめ
フランスの王権は十字軍派遣やアナーニ事件で拡大していった。
王位継承権問題，領有権での対立などを背景に百年戦争がはじまった。

第 8 講 PART 4 確認問題

1 1154 年に，フランスのアンジュー伯がヘンリ 2 世としてイングランドに開いた王朝はどれか。

① ノルマン朝　② プランタジネット朝
③ テューダー朝　④ ステュアート朝

2 1215 年にイングランドで貴族たちがジョン王に認めさせ，その後のイギリスの立憲政治の基礎となった文書を何というか。

① マグナ = カルタ　② 権利の章典
③ 人権宣言　④ コモン・センス

3 イングランド王ヘンリ 3 世に対する貴族の反乱の中心的存在となり，議会の招集を認めさせた人物はだれか。

① ロジャー = ベーコン　② ウィリアム = オブ = オッカム
③ ワット = タイラー　④ シモン = ド = モンフォール

4 1295 年に，イングランド王エドワード 1 世が招集した身分制議会を何というか。

① 三部会　② 帝国議会
③ 模範議会　④ 国民議会

5 フランスでカペー朝が断絶したあと，フィリップ 6 世により成立した王朝はどれか。

① カロリング朝　② ヴァロワ朝
③ ハプスブルク朝　④ ブルボン朝

6 イングランド王エドワード３世が，王位継承権を主張してフランスと戦った戦争を何というか。

① 七年戦争　② 十三年戦争
③ 三十年戦争　④ 百年戦争

7 1455年にイングランドで勃発したバラ戦争で，ヨーク家と争った貴族はどれか。

① ノーサンバランド家　② ダービー家
③ ノーフォーク家　④ ランカスター家

8 1485年にテューダー朝を開いたイングランド王はだれか。

① エドワード３世　② リチャード３世
③ ヘンリ６世　④ ヘンリ７世

第 8 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：②　フランスのアンジュー伯は，ヘンリ 2 世としてイングランドに**プランタジネット朝**を開いた。

2 解答：①　1215 年，貴族たちは団結してジョン王に**マグナ = カルタ**（**大憲章**）を認めさせた。

3 解答：④　**シモン = ド = モンフォール**は，ヘンリ 3 世に対する貴族の反乱の中心的存在となって議会の招集を認めさせた。

4 解答：③　1295 年にイングランド王エドワード 1 世が招集した身分制議会は，**模範議会**と呼ばれる。

5 解答：②　フランスでカペー朝が断絶すると，フィリップ 6 世により**ヴァロワ朝**が成立した。

6 解答：④　イングランド王エドワード 3 世は，王位継承権を主張してフランスとの**百年戦争**を開始した。

7 解答：④　バラ戦争では，イングランドの王位継承権を巡ってヨーク家と**ランカスター家**が争った。

8 解答：④　イングランドのテューダー朝は，**ヘンリ 7 世**によって開かれた。